第31回　日・韓・中ジュニア交流競技会　和歌山大会

陸 上 競 技　競技注意事項

1.　本競技会は2023年度WA（ワールドアスレティックス）規則・日本陸上競技連盟競技規則及び本競技会申し合わせ事項により実施する。

2.　スタートについて
TR16.5については非適応とする。但し、（16.5.1）、（16.5.2）、（16.5.3）の不適切行為が繰り返し行われたり悪質なものにはTR16.5・TR7.2を適応とする。

3.　練習について
練習は補助競技場または雨天練習場を使用すること。
また、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、競技役員の指示に従い行うものとする。
①メイン競技場での練習は、午前８時00分から9時30分前まで使用可とする。ただし、トラック競技のみとする。
②雨天練習場での練習は、走る方向は一方通行とし、危険防止に努めること。

4.　場内指令について
選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

5.　競技用靴について（競技規則TR5の5.3　5.4　5.5　5.13を参照）
スパイクピンの数は11本以内とし、長さは、9㎜以内、走高跳・やり投は12㎜以内とする。

6.　招集について
①招集はすべて招集場所（第4ゲート外）で行う。
選手は係よりアスリートビブス、靴底の厚さやスパイクピン・商標等の点検・確認を受けること。
②各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。
招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。
③招集完了時に遅れた選手は、その種目を欠場したものとして処理する。
④代理人による招集は一切認めない。
⑤その種目をやむを得ず欠場する場合は、欠場届に記入し、その旨を招集所に申し出る。
⑥2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が「2種目同時出場届」に必要事項を記入し、第1種目の点呼前に競技者係（招集場所）に提出すること。
⑦リレー種目について
・リレーオーダー用紙は、招集所で配布する用紙に記入し招集完了時刻の1時間前までに、競技者係まで提出する。
・招集は4人全員で受けること。（他種目に出場している場合は代理人可）

7.　競技について
①トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。

②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空けるものとする。
③短距離種目では競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
④当競技会はスタート・インフォメーション・システムを使用する。不正スタートした競技者は1回で失格とする。
⑤スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
⑥リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームを着用しなければならない。
⑦リレーで使用するマーカーは、主催者で用意する。
⑧フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。
⑨助力については競技場内での助力は禁止するが、スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。

8. 競技用具について
①競技に使用する用具は、すべて主催者が用意した物を使用しなければならない。ただし、競技場に備え付けられていない場合は検査を受け合格したものに限り持ち込みを許可する。
検定は、競技開始時刻の80分前から60分前までに、正面玄関TICにて行う。
②練習用の個人の用具は、競技場に持ち込んではならない。

9. 表彰について
本競技会は３ヵ国の国際交流を目的としたもので、各種目表彰は行わない。

10. アスリートビブスについて
配布されたアスリートビブスをユニホームの胸と背に確実に付けること。
ただし、跳躍種目は胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で配布する。

11. 走高跳について
バーの上げ方は次の通りとする。

	種別	練習	1	2	3	4	以降
走高跳	男子	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	3cm
	女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	3cm

上記のバーの上げ方を天候その他の要因によって変更する場合は審判長が決定する

12. その他
①貴重品は各自で管理すること。
②記録は、アスリートランキング（http://www.athleteranking.com/)で公開します。
③練習日は8月24日、26日とし、メイン競技場でトラック種目と円盤投・走高跳・走幅跳・三段跳、補助競技場で砲丸投・やり投を実施する。
④この競技会に寄せられた個人情報は、本競技会の目的以外に使用することはありません。
⑤本競技会が認めた記録の紹介や掲示は、報道関係に公表いたします。
⑥本競技会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告・ホームページ等で公開されることがあります。
⑦本競技会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放送されることがあります。